

(13) 耳が痛い

子供が耳を痛がる場合にまず頭に思い浮かぶのは「中耳炎」ですが、耳の痛みを訴えるケースは中耳炎以外にもいろいろな状況で考えられます。特に小さい子供の場合は痛みをうまく表現できないので「本当に耳が痛い」のか判断が難しくなります。

- (1) 本当に耳を痛がっていますか？ 耳のまわり（特に耳の下）の痛みではありませんか？
- (2) 耳だれ（耳漏）はありませんか？
- (3) 耳に物を詰めていませんか？ 虫歯はありませんか？
- (4) 耳の下に何か触れませんか？

なお、内耳の病気は耳の痛みよりもむしろ頭痛や聴力低下、めまいとして症状が現れます。

医療機関救急受診のポイント

（救急外来を受診しましょう）

- ▶ 高熱がある
- ▶ ぐったりしてきた
- ▶ 嘔吐を繰り返す
- ▶ 強い頭痛を伴う
- ▶ 聴こえが悪い
- ▶ 耳漏（耳だれ）が多い、耳から出血している



※ 特に耳の痛みに発熱と吐き気を伴う場合は髄膜炎（ずいまくえん）の合併が疑われます。

家庭での対処方法のポイント（Q & A）

Q 1 すぐに救急受診したほうが良いの？

「耳が痛い」という症状だけなら急を要するケースはほとんどありません。夜間、耳を痛がるが他に大きな症状がない場合は自宅で様子を見ていただいてもかまいません。翌日に耳鼻咽喉科を受診してください。鎮痛解熱剤（痛み止め・熱冷まし）の手持ちがある場合、それを飲ませていただいてもかまいません。

この症状によくみられる代表的な病気は？

- ▶ 中耳炎（一番代表的です）
- ▶ 外耳道炎、外耳道異物（何かを耳に詰めた）、外耳道の損傷（主に耳かき）
→ 外耳（鼓膜の手前）の病気です
- ▶ 耳介（耳たぶ）の炎症、ムンプス（おたふくかぜ）、（ムンプス以外の）耳下腺炎
→ 耳というより耳のまわりの痛みです
- ▶ 顎関節症、頸部リンパ節炎、う歯（いわゆる虫歯）、扁桃炎、带状疱疹（子どもには稀です）
→ これらは耳の病気ではないですが、耳への放散痛として症状が現れることがあります

